

2022年8月31日

【関東エリア】スミリンでんき お客様各位

住友林業株式会社

【関東エリア】スミリンでんき 燃料費調整単価の上昇に関するお知らせ

拝啓 残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素はスミリンでんきに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、各電力会社では、燃料費調整制度（※1）により燃料価格の変動を電気料金に反映しておりますが、昨今の世界情勢の変化に伴い発電に使用する燃料が高騰しており、お客様にご負担いただく燃料費調整単価についても上昇が続いています。

燃料費調整単価は関東、近畿等のエリア毎に算出され、各エリアでは概ね同一金額が適用されます。東京電力エナジーパートナーズ株式会社の従来の料金プラン（※2、以下、規制料金プランといいます）は、燃料費調整単価に上限額（および下限額）を設けていますが、いわゆる新電力会社の多くは上限額（および下限額）を設けていません。このため、2022年9月以降、スミリンでんき（※3）をご利用いただくお客様に適用される燃料費調整単価は、規制料金プランに適用されるものを上回る見込みです。

スミリンでんきの電気料金プランは、規制料金プランよりも低い水準ですが、燃料費調整単価の上昇により、使用量によって影響額は異なるものの、お支払い総額が規制料金プランを上回る場合があります。

9月のスミリンでんきに適用される燃料費調整単価は【6.50円/kWh】、規制料金プランの燃料費調整単価の上限は【5.13円/kWh】です。世帯あたりの月平均電気使用量を337kWh（環境省調査による2019年実績）とした場合、スミリンでんきに適用される9月の燃料費調整額は規制料金プランより462円（9月適用単価と、規制料金プランの上限の差額1.37円×337kWh）高くなる見込みです。

スミリンでんきは、2019年11月のサービス提供開始以来、お客様満足を第一とした運営に取り組んで参りましたが、世界情勢の変化に伴いこのようなご連絡をせざるを得なくなりました。ご不便をおかけし大変申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

※1…燃料価格や為替レートの影響を外部化するための制度。各月分の燃料費調整単価は、3ヵ月間の貿易統計価格にもとづき算定し、2ヵ月後の電気料金に反映され（1-3ヵ月分価格より算出）を6月の電気料金に反映）、電気料金に含めて請求されます。値上りのみでなく、値下りの場合にも適用されます。

※2…従量電灯などの特定小売り供給約款に基づく料金プラン。

※3…関東エリアのスミリンでんきは小売電気事業者が東京ガス株式会社、代理事業者が住友林業株式会社となります。